# 議事録

| | | |
|---|---|---|
| 会議名 | | 令和５年度第１回八王子市医療的ケア児支援検討会 |
| 日時 | | 令和５年１０月１９日（木）　午後７時００分～８時３０分 |
| 場所 | | 八王子市保健所　４０１会議室 |
| 出席者氏名 | 参加者（敬称略） | 松本　勉、橋本　政樹、小沢　浩、渡邉　東、冨田　直、大西　志津、山内ゆきみ、松井　綾子、三木　英子、高嵜　瑞貴、泉　愼一、中村　志保（健康医療政策課長）、長谷川　由美（東浅川保健福祉センター館長）、荒川　泰雄（保健対策課長）、山田　光（子どもの教育・保育推進課長）、堀川　悟（保育幼稚園課長）、長田　智久（特別支援・情報教育担当課長 代理 課長補佐兼主査）、倉田　直子（放課後児童支援課長） |
| | 事務局 | 遠藤　徹也（障害者福祉課長） |
| 議題 | | １.開会<br>２.委員・事務局紹介<br>３.議題<br>（１）【委員】<br>医療的ケア児等コーディネーター事業の活動状況報告等<br>◆令和５年度１月～３月・４月～８月（一般社団婦人 シーズ）<br>◆令和５年度１月～３月・４月～８月（社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センターはちおうじ）<br>◆お楽しみ会～ミニ夏祭り～<br>（２）【事務局】<br>◆学齢児期の課題について<br>～令和元年度八王子市における医療的ケア児に関するニーズ調査より～<br>（３）【委員】<br>都立学校での医療的ケア児の現状及び課題について<br>◆パワーポイント資料<br>（４）【特別支援・情報教育担当課長 代理 課長補佐兼主査】<br>◆市立学校での医療的ケア児の現状及び課題について<br>（５）【委員】<br>令和５年 医療的ケア児実態調査及びニーズ調査（案）について<br>◆八王子市における医療的ケア児に関する実態把握調査（案）<br>◆医療的ケアが必要なお子さんへの支援ニーズに関する調査票（案）<br>（６）【事務局】<br>◆八王子市重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業 実績報告<br>４.閉会 |
| 公開・非公開の別 | | 公開 |

| 傍聴人の数 | ０名 |
| --- | --- |
| 会議の内容 | １．開会<br>【事務局】<br>　開会及び議事進行の挨拶。<br>　欠席者等の連絡。<br>　配布資料の確認。<br><br>２．委員・事務局紹介<br>【事務局（障害者福祉課長）】<br>　議事進行の挨拶。<br>　前回会議からの変更のあった委員について紹介事務局の紹介、欠席者の連絡。<br><br>３．議題（１）医療的ケア児等コーディネーター事業の活動状況報告等<br>【座長】<br>　委員から説明お願いします。<br>【委員】<br>　「令和５年度１月～３月・４月～８月（一般社団法人 シーズ）」について説明。<br>【委員】<br>　「令和５年度１月～３月・４月～８月（社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センターはちおうじ）」について説明。<br>【委員】<br>　「お楽しみ会～ミニ夏祭り～」について説明。<br>【座長】<br>　委員からの説明に対し、御意見はありますか。<br>【委員】<br>　内科で年齢が上がった際のレスパイト先や、成人期に近づいて繋がることができる先について、現状を知りたい。<br>　また、重症心身障害児のトランジェントの方のレスパイト先について、現状を知りたい。<br>【委員】<br>　重症心身障害児施設では１８歳以上でも一応レスパイトを受け入れるということになっているが、現状は島田療育センター、府中療育センター、東大和療育センター、ワゲン療育病院であり、東京小児療育病院にかかっている方であれば東京小児療育病院も受け入れ可能である。満足いく数が揃っているとは言えない状況である。<br>　ただ、最近は、ベッドが空いていれば受け入れてくれるところも増えては来ている。<br>　また、歩く重心、動ける重心、多動の方等をどうするのかというのが全国 |

| | |
|---|---|
| | 的な課題になっている。<br>　さらに、１８歳以上の方が入院となると診療報酬が下がるという国の方針もあり苦しい状況である。<br>【委員】<br>　動く医ケア児に関して、急性期医療も含めてレスパイトの受け入れ先がなく、個室使い、かなり工夫をしながら対応はするが、結局手足等を縛りつけられるようにも見えてしまうため、対応としてこれで間違いないのか悩むところである。<br>　成人になると、専門家が細分化されているが細分化された専門家がいれば受け入れ可能だが、細分化の中に扱っていない疾患等の場合は専門家がいないということで受け入れが無い場合が多い。ここを、現在は地域レベル対応しているが限界があることは把握している。<br>　小児科医と成人の医師との関係性もあると思われるため、ともに協力していける関係づくりや、移行時のアプローチが必要になると考える。<br>【委員】<br>　医療的ケア児が八王子も増えてきている。今後、内科の病院も参入するような、八王子独自のトランジェントが受け入れやすいような仕組みを構築していけたら良いと思う。<br><br>３．議題（２）学齢児期の課題について～令和元年度八王子市における医療的ケア児に関するニーズ調査より～<br>【座長】<br>　事務局から説明願います。<br>【事務局】<br>　「学齢児期の課題について～令和元年度八王子市における医療的ケア児に関するニーズ調査より～」について説明。<br>【座長】<br>　事務局からの説明に対し、御意見はありますか。<br>【委員等】<br>　特になし。<br><br>３．議題（３）都立学校での医療的ケア児の現状及び課題について<br>【座長】<br>　委員から説明願います。<br>【委員】<br>　「パワーポイント資料」をプロジェクターでスクリーンへ投影及び個人情報を除いた紙資料を活用し説明。<br>【座長】<br>　委員からの説明に対し、御意見はありますか。<br>【委員等】<br>　特になし。 |

| | |
|---|---|
| | ３．議題（４）市立学校での医療的ケア児の現状及び課題について<br>【座長】<br>　特別支援・情報教育担当課長 代理 課長補佐兼主査から説明願います。<br>【特別支援・情報教育担当課長 代理 課長補佐兼主査】<br>　「市立学校での医療的ケア児の現状及び課題について」について説明。<br>【座長】<br>　特別支援・情報教育担当課長 代理 課長補佐兼主査からの説明に対し、御意見はありますか。<br>【委員等】<br>　特になし。<br><br>３．議題（５）令和５年 医療的ケア児実態調査及びニーズ調査（案）について<br>【座長】<br>　委員から説明願います。<br>【委員】<br>　「八王子市における医療的ケア児に関する実態把握調査（案）」及び「医療的ケアが必要なお子さんへの支援ニーズに関する調査票（案）」について説明。<br>　令和元年に医療的ケア児の実態把握調査をしてから４年経過し、改めて市内にどういった医療的ケア児がいるのかという実態調査を行う。前回よりもより詳細な情報を調査することを検討している。<br>【委員】<br>　相手が分かりやすい表現にすることが大切だと思う。<br>　介護者の定期的な通院があるかどうかを調査するのはどうか。<br>【委員】<br>　よりわかりやすい調査内容の作成を心掛ける。<br>【委員】<br>　生活保護の有無を調査するのはどうか。<br>　発達障害の診断名を調査するのはどうか。<br>【委員】<br>　発達障害の診断名をきいていない者もいる。<br>【委員】<br>　そうしたら、きいていない、という項目を作成してみるのも良いのではないか。<br>【事務局】<br>　生活保護の有無についても、個人の情報を外だしするものでないため、問題ないとは思われる。内容はしっかり精査する。<br>【委員】<br>　人工呼吸器の装着についての調査項目もより詳細にすると良い。 |

| | |
|---|---|
| | 手帳等の状況について、何にも当てはまらないという項目あると良いのではないか。<br>サービス名よりも、ヘルパーとかわかりやすい表現にするのはどうか。<br>前回調査時からから４年経て、１８歳以上になった者への追跡調査もあると良い。<br>【事務局】<br>調査項目等について、今すぐに意見を出せない者もいるかもしれないため、意見があれば障害者福祉課へメールにて提出するように依頼。<br><br>３．議題（６）八王子市重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業　実績報告<br>【座長】<br>事務局から説明願います。<br>【事務局】<br>「八王子市重症心身障害児（者）等在宅レスパイト事業　実績報告」について説明。<br>【委員】<br>原則在宅での使用であると想定しているが、通院時の介助等にも使用できないか。<br>【委員】<br>東京都の制度で時間数が増えたと思うが、八王子市は時間数の増加の見込みはどうか。<br>【事務局】<br>各意見について、今後の事業設計の検討とする。<br><br>４．閉会<br>【座長】<br>以上で、本日の会議は終了とさせていただきます。 |
| 会 議 録 作 成 | 障害者福祉課 |